

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 3月 4日

事業所名 ひっぽファミリー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	6	2		スタッフがローテーションで出勤をして、職員の人員確保に取り組んでいきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	第三者の評価は今のところ出来ていない。	今後は第三者への評価を取り入れ、風通しの良い事業所作りに取り組んでいきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	年数に応じた研修を行っている。	今後は研修へのバリエーションを増やしていき、新人スタッフやベテランのスタッフもスキルアップに繋げていきたいと思っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		週ごとにプログラムを作成し、スタッフで話し合い決めている。	今後はより子どもたちが楽しめたり、子どもたちの成長に寄り添えるようなプログラム作りに取り組んでいきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		
	15	支援には、職開始前員間で必ず打合せをし、その日行われた支援内容や役割分担について確認しているか。	5	3	コロナの影響もあり出勤後、すぐに送迎業務になることが多く、打ち合わせが出来ない時もある。	打ち合わせが出来るような時間の組み立てで取り組んでいきたいと思っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	2		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	3			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	医療的ケアが必要なお子様が今のところいません。	医療的ケアの必要なお子様の利用もスムーズに出来るように準備に取り組んでいきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	専門機関との繋がりが薄い。	各専門機関との関りを多くとるようにし、情報の共有やスキルアップに繋げていきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7		コロナが収束したら、交流の機会を設けていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	月1回、阿倍野区障がい児部会に参加している。	今後も積極的に参加していき、他の事業所の方々との繋がりを築き、新たに地域と事業所の繋がりを作っていかれたらと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2	保護者の方に向けた研修会を開いている。	今後もチラシを作り、保護者の方が積極的に参加してもらえるような研修会を開催させていただきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		さらに分かりやすく説明し、ご理解をしてもらえるように取り組んでいきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	保護者の方と4か月に1回面談をしてお話を聞かせていただいています。	保護者の方が何でも話せるような雰囲気づくりに取り組んでいきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		ひっぽだより(月1回)配布や週に2~3回のブログの更新で活動内容を発信させていただいている	ひっぽだよりの配布やブログの更新は引き続きさせていただきます、より分かりやすく活動をお知らせできるように努めていきます。
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	まだ地域住民の方を招待したことはありません。	地域で行われているイベントには参加させていただき、ひっぽファミリーの事業所のことをもっと知ってもらえるように取り組んでいきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		月1回、子どもたちと一緒に避難訓練を行っています。	年2回の阿倍野区防災センターを見学し、防災の体験もさせていただいています。今後も大きな災害に備えて、実践に近い非難の練習に取り組んでいきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	保護者の方より、アレルギーのお話を聞いてはいるが、医者の意見書はもらっていません。	今後は医師の意見書があればご提出していただき、対応をしていきたいと思っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			